

Rotary International
2010~2011



地域を育み、大陸をつなぐ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2010~2011)

会 長/岡 本 淳	創 立/昭和38年10月2日
幹 事/大 塚 和 助	例会日/水曜日 12:30~13:30
会報委員長/谷 岡 慶 一	例会場/新ロイヤルホテル四万十 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553 ●ホームページ http://www.nakamura-rc.com/

週報 No.2194

第2325回 平成22年12月15日 (時雨れ)

本日のプログラム：会員スピーチ (掛水雅彦会員・尾崎好英会員)

12月22日のプログラム：会員スピーチ

12月29日→休会

【会長挨拶】岡本会長

・本日は大変寒い一日となりました。先週の大杉幹夫会員のスピーチ「中国の驚異」ということで勉強させられました。ある雑誌で、石原慎太郎の「日本墮落論」という記事を読みました。その中で、アメリカのニューズウィーク誌の日本版の表紙に、アメリカ国旗がのっていたそうです。星はアメリカの州の数だそうですが、最後に日の丸が書かれていたそうです。日本はアメリカの属国というジョークかもしれませんが、石原氏は非常に怒っていました。私もあまりいい気はしませんね。

【幹事報告】大塚幹事

- ・ガバナー事務所より
10月31日に開催された雑誌委員会で配布された冊子拝受
- ・四万十RCより週報拝受と年末年始の例会変更のお知らせ
- ・中村商工会議所より新年互例会のご案内
1/5 (水) 午後6時~
新ロイヤルホテル四万十
- ・中村青年会議所より新年名刺交換会のご案内
1/8 (土) 午後6:30~
新ロイヤルホテル四万十
- ・青少年健全育成四万十市民会議より事業のご案内
「たこ作り大会」12/25 午後1時~
「たこあげ大会」1/9 午後1時~



●本日のプログラム

会員スピーチ 「私の仕事」



■掛水雅彦会員

「支社長は書くのが好きらしいね」とよく、冷やかされます。今日はなぜ、私が、書くのが好きなのか、その理由を説明したいと思います。

実は「書くのが好き」と簡単に済ませていますが、本当は書くのがこの土地を最もよく知るための近道だと思っているのです。おそらく私の幡多支社の任期は再来年の3月までと予想しています。あるいは、長くてもう1年間。そういう限られた時間の中で、自分が何をすべきか、ということです。

せっかく日本全国の人々がうらやむような土地、四万十川のほとりに住む機会を与えてもらったのですから、その中身を濃いものにしたいのは当然ではないでしょうか。それには取材が一番だと考えたわけです。人も深く知ることができるし、土地も覚えられる。書けば喜んでいただける。地元の記事が数多く載れば街に元気も出るかもしれない。そして、高知新聞の購読価値も少しは上がるかも、というわけです。

新聞記者の仕事は、単に目の前で起きたことを書くことではありません。イベント、催し物は、私にとっては記事ではありません。それは最低限の仕事で、人間で言えば呼吸をしているようなものです。本物の記事は「私は記事です」なんて待ちかまえてくれてはいません。しっかり、目をこらして見てないと、その土地の伝えるべきことは見えてきません。

さて、何が本物の記事か。悪をたたくこと、地域を元気づけること、そして地域に提案することも重要です。提案とはどんな場合でしょう。一つの例を出します。お手元にあるのは、私が書いた街路灯の11月の記事です。京町の街路灯ができたのは今年の3月。落成式は8月21日でした。「珍しい街路灯ができたことを紹介すれば」と地元の方から話がありました。でも、その落成式をそのまま書いたら妙なことになります。「5カ月もたって、何とのんびりした話よのう」と言われかねません。しかし、書かないわけにもいかない。税金を3600万円もつぎ込んだ事業です。歴史に書き残しておかないと納税者にも失礼です。では、どうやって紹介すれば無理がないように見えるか。その答えが、その記事です。

街路灯のことを調べるうちにいろいろと分かってきました。中村には京風の街路灯が何種類もある。2000年代に入ってできたものです。しかも、それらは完成後、ほとんど紙面で紹介されてない。「いたずらで壊されて困っている」といった記事ぐらいです。そこで、この際、街路灯の総ざらえ記事を書いて読み物にしてはどうか、と思



ったわけです。そうすれば京町だけでなく、他の商店街の街路灯のことも一緒に書き残すことができます。ただ、問題は紹介するタイミングです。

タイムリー性は、記事の重要な要素の1つです。秋まで待つことにしました。夜が長くなり、空気も澄み渡り、街路灯の輝きが映える季節。そういう時に書けば、完成から8カ月後に紹介しても違和感はないと考えました。

記事の中には、そんな私の計算もあるのです。そして、もう一つ言えば、この街路灯の輝きを写すことも簡単な仕事ではありませんでした。写真を撮るだけで2週間ほどかかりました。ご自分でこの写真を撮ろうとした時、初めてその難しさは分かります。例えば、この高さで写真を撮るにはどんな脚立がいるのか、その脚立はどこで調達すればいいのか、とか。

そして、私は街路灯について、後追い記事を書きました。それが、コラム「コーヒーブレイク」です。ひと言で言えば、「高いお金をかけて、いいものができたと喜ぶのは簡単です。せっかくの立派なものだから、それを活用したらなお素晴らしいのでは」という提案です。ただし、これは商店街への問い掛けではありません。補助金を出すことを認めた行政、あるいは、この街の観光関係者へのメッセージでもあります。

そういう声を上げてみるのも、外から来て、比較する立場にある私たちの使命の一つではないかと思い、日々、この街を走り回っているわけです。当事者にとっては、小さな親切、大きなお世話となっているかもしれませんが。



■尾崎好英会員

労金は「日本でただ一つの働く人のための生活支援バンク」です。労金は働く仲間がお互いを助け合うために資金を出し合って作った協同組織の金融機関として1950年に岡山と兵庫で誕生しました。当時は、労働者がお金を借りる手段としては、質屋へ通うしかなかったようです。

1951年に三陽電鉄労組に賃金肩代わり融資、1952年に炭労・電産ストに際し生活資金の融資を行っています。

今でこそ銀行は一般労働者個人にも融資していますが、その当時は会社には融資しても、一般労働者には融資ができていく世の中であったようです。1966年に47番目の沖縄県労働金庫が設立され全国47都道府県に設立、その後、1998年に近畿地区が地域統合により近畿ろうきんが発足し、2001年は四国ろうきんが地域統合し、来年で10周年を迎えます。

《労金は目的がちがいます》

数多くある金融機関の中で、純粋に働く人の福祉金融機関と呼べるのは労金しかありません。働く人が安心して快適な日々を送れる社会づくりを目指しています。労金

〈※裏面につづく〉



は働く人々の、経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的としています。

《運営がちがいます》

労働金庫法に基づき、営利を目的とせず公平かつ民主的に運営。今では全国で1000万人を超える働く仲間にも広く利用されています。

《運用がちがいます》

業務内容は、預金やローン・各種サービスなど、一般の金融機関とほとんど変わりません。しかし、資金の運用が違います。皆様からお預りした資金は、大切な共有財産として、住宅・教育・自動車・育児などの低利な融資として提供し、働く仲間と家族を支え、より豊かにするために役立てられています。

このような基本姿勢も社会的な役割も、暮らしに役立つプランやサービスもすべてが働く人の視点にたって発想されたものです。労金は人と人の真ん中で暮らしを見つ

め、ニーズをつかみ、皆様のベストアドバイスを提案できる金融機関でありたいと考えています。

現在、中村支店では12名体制で営業活動を展開しております。

ロータリーの四つのテストと、労金の基本姿勢の合致点はいかがでしょうか？

最後に、会員の皆様方には、労金を知ってもらい、「身近に」感じて頂ければ幸いです。個人名義はもちろん、団体名義でもいいですので預金をしていただきますようよろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

【委員会・会員報告】 ■一藤親睦委員長

新年家族例会に恒例の景品をお一人様2個お願いします。当ホテル受付まで。

【ニコニコ箱】

大塚幹事：先日のゴルフコンペ、大杉幹夫会員のおかげでいいことがありました。

くどいようですが、兄の幸雄さんではなく、幹夫さんです。

大杉(幹)会員：当クラブのゴルフコンペで優勝させて頂きました。皆様のご協力ありがとうございました。

稲田会員：若草園もちつき、お疲れ様でした。

東 会員：餅つきを失念致しました。

小池会員：先日愛車のオドメーターが1万5千Kmを超えました。2011年中に2万Km超えを目標にします。

【出席報告】

- ・会員総数/47名
- ・本日の出席/32名 67.39%
- ・先週の訂正 MU7 62.22%→84.78%



このテーマには2つの意味があります。1つは社会奉仕と職業奉仕の基本理念を理解し、地域社会をより住みやすく、働きやすい場所にする。もう1つは、国や大陸が異なる海外クラブと協力し、世界理解、親善、平和を広め、世界をより良い場所にする、ということです。

2010～2011年度国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス